

薬用植物園だより

2023年

10月

八坂神社の除夜祭（をけら参り）で使われる植物

オケラ（キク科）



Atractylodes japonica Koidzumi ex Kitamura

| | | |
|-----|--------------------|------|
| 部位 | 根茎 | |
| 生薬名 | 白朮（ビャクジュツ） | 局方収載 |
| 成分 | アトラクチロン（精油） | |
| 薬理 | 消化管運動の促進、利尿作用、利胆作用 | |
| 薬能 | 補気健脾薬、利水薬 | |
| 漢方 | 六君子湯、補中益気湯、五苓散 | |

本州、四国、九州、朝鮮、中国東北部に分布する多年草。数十年前では身近な野山で見られたが、近年では減少しています。10月頃に白または、淡紅色の花をつけます。雌株と両性花があり、雌株の花の柱頭はYの字に開き見分けがつきます。昔から「山で美味しいは、オケラにトトキ（ツリガネニンジン）、里で美味しいは・・・」と言われたように若葉は美味しい山菜ですが、関西で育った私は食したことがありません。根茎を白朮とよび、健胃や利尿作用があり、浮腫、めまい、頭痛などに使用される漢方薬に配合されています。お正月のお屠蘇（屠蘇散をいれたお酒）やをけら（オケラ）参りなどで邪気除けにも使われてきた身近な薬草です。

ホソバオケラ（キク科）

白朮と蒼朮の使い分けが出来れば漢方の達人！

Atractylodes lancea De Candolle

| | | |
|-----|---|------|
| 部位 | 根茎 | |
| 生薬名 | 蒼朮（ソウジュツ） | 局方収載 |
| 成分 | ヒネソール、 β -オイデスマール（精油） アトラクチロジン（ポリアセチレン化合物） | |
| 薬理 | 抗胃潰瘍作用、利尿作用、抗真菌作用 | |
| 薬能 | 利水薬、祛風湿薬 | |
| 漢方 | 平胃散、五苓散、補中益気湯、六君子湯など | |



中国華中の東部地域に分布する多年生草本。オケラと比較して、細い葉が特徴で、葉柄は無く、花も早く咲きます。江戸時代に中国より導入されたホソバオケラが佐渡島で栽培されたことから「佐渡オケラ」とも呼ばれる。オケラと交配しやすいのですが、当園は両種とも雌株だけですので、交配しません。根茎を蒼朮と呼び漢方薬に配合されます。多くの漢方薬の原典である傷寒論（しょうかんろん）が書かれた時代では、上記の「白朮」と「蒼朮」の区別がありませんでした。同じ五苓散という漢方薬でも白朮を配合するものと蒼朮を配合するものの2種類があります。



ホームページでも
ご覧いただけます